

2023年1月31日

各位

株式会社三井住友銀行

パンチ工業株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、パンチ工業株式会社（代表取締役 社長執行役員：森久保 哲司）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

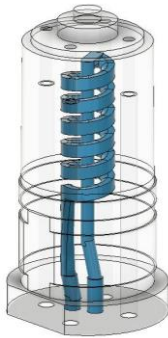
今回のパンチ工業株式会社に対する評価結果は、「企業統治体制」、「顧客に対する誠実さ」、「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 取締役会における独立社外取締役比率は4割であり、取締役会の議長は独立社外取締役が務めるなど、取締役会の監督機能を強化しておられる点
- ② 顧客利益の保護に向けた品質理念や行動指針を制定・開示し、ISO9001に基づく品質マネジメント体制を構築するなど、製品品質の向上に継続的に取り組んでおられる点
- ③ 従業員の長時間労働の削減や、休暇の取得促進に向けて数値目標を設定し、在宅勤務制度の導入や育児・介護の両立支援の取り組みを推進するなど、働きやすい職場環境を整備しておられる点

加えて、事業を通じて、FA（ファクトリーオートメーション）領域での特注品の販売等を通じて、顧客の生産性向上に寄与し、SDGsが示す「目標8:働きがいも経済成長も」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



2022年9月に商標登録が完了したP-B a s (Punch Bonding and sintering)は、接合(Bonding)と焼結(sintering)を意味する、パンチグループ独自の造語であり、接合を活用して金型部品を製作する技術や、焼結による新素材の開発に取り組むことで、お客様の生産性向上や原価低減に貢献してまいります。



「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定の「くるみん」取得では、各職場での理解促進等により、性別を問わず育児休業・育児休暇取得や年次有給休暇の取得が進んだことなどが評価されました。



社員の子どもを対象にした職場見学会「ファミリーデー」を初開催。子どもたちに、普段は見ることのできないお父さん・お母さんの働く姿に触れることで働くことの楽しさを感じてもらい、また家族が働く職場を知ることによって会社のファンを増やすことを目的に開催されました。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境 (Environmental)、社会 (Social)、企業統治 (Corporate Governance) の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで。

以 上